

あきる野市行政改革推進市民会議における委員の意見について（第1回～第5回）

項 目	委員の意見	市民会議の提言
歳入の確保策	1 線引きの見直しについて：市街化調整区域を市街化区域へ編入にすることにより、歳入の確保を図る。(第3回)	
	2 市民からの意見募集について：イベント等に人を集めるため、市民からアイデアを募集する。(第3回)	
	3 五日市出張所の有効活用について：イベントの実施など(第4回)	
	4 施設使用料の免除の見直しについて：施設の利用者にコスト意識を持ってもらうためにも、免除している施設使用料を減額とするなどして歳入の確保を図る。(利用者にとっては、現行でも使用料が高いという意見あり。)(第4回)	
	5 市営住宅について：老朽化した市営住宅は、建て替えるのではなく、既存民間住宅を活用する。これにより、入居者ニーズへの対応が図れるとともに、処分後の跡地から税収が期待できる。(第3・5回)	
	6 放置自転車について：放置自転車を廃棄処分するだけでなく、リサイクルの観点から、入札により販売する。また、自転車だけでなく、粗大ごみのリユース、リサイクルによる売却によりごみの減量化を図る。(第5回)	
	7 遊休農地の貸出しについて：市外の学校や個人に対する遊休農地の貸付システムを構築し、地域の活性化と農地貸付者の増収を図る。(第5回)	
人件費・報酬関係 〔報酬〕	1 議員報酬額の見直しについて：月額報酬の見直し及び期末手当20%加算を撤廃する。(第1・3回)	
	2 議員報酬額の見直しについて：定数削減だけでなく報酬額を削減する。(第3回)	
	3 選挙管理委員会などの委員報酬について：大津地裁判決を踏まえて、月額規定を検証する。(第3回)	

〔定員管理〕	4 職員数について： 嘱託員やパート職員を含めた職員数(人件費等)を削減する。(第3・4回)	
	5 職員数について： 職員数の検討には、事務量の把握が必要である。(第4回)	
〔採用計画〕	6 職員採用計画について： 短期的に人件費を減らすことも重要だが、職員の年齢構成が偏った状況にあることから、長期的視点に立った職員の採用計画をたてる。(第3回)	
指定管理者関係	1 当該制度は、経費の削減だけでなく、利用者へのサービスが向上することに意義がある。指定時及び運用時にサービス面の検証(モニタリング)を行う。(第3・4回)	
	2 指定後の経費負担などについて、透明性の確保を図る。(第4回)	
	3 指定に当たっては、経費削減という観点だけでなく、施設の性格や職員の再任用なども視野に入れて検討する。(第3回)	
補助金関係	1 補助金削減について： 補助団体や補助金の性格により、メリハリをつけた対応を図る。(第3回)	
	2 補助金の適正化について： いくつかのチェックポイントを設け、補助金の妥当性を判断する。(第3回)	
	3 補助金の適正化について： 補助金の目的、金額の算出根拠、執行状況など補助金の妥当性について検証する。現場の実態を確認し、判断する。(第4回)	
施設関係	1 利用者が減少した原因を分析の上、利用者を増やすための方策を検討する。(第1回)	
	2 施設(いきいきセンターのサウナ)や事業について、市が行うべきものかを検証した上で、廃止、処分などの対応をする。(第3回)	
その他	1 施設を統廃合した場合、交通手段の確保が必要になるので、「るのバス」の運行計画を検討する。(第1回)	
	2 行政と市民の関係について： 行政改革は、行政だけでなく、市民の意識、市民力の改革も必要である。(第1回)	
	3 財政状況の情報について： 厳しい財政状況について市民への周知を図る。(第1回)	

(その他)	4 財政状況について市民の理解を図るため、より分かりやすい資料を作成する。 (第3回)	
	5 市の施策について市民への周知徹底を図る。(第3回)	
	6 市役所内の部署の連携強化について： データを分析し、一元管理した上で、データに基づく施策展開を図る。(第4回)	
	7 行政と各種団体の連携について： 各種団体等とイベント等で連携を図る。(第4回)	
	8 プロジェクトチームの組織化について： No.6とNo.7の連携等を取りまとめるプロジェクトチームを組織し、情報の共有を図る。(第4回)	
	9 IT による情報共有とデータの活用について： 情報のデータベース化及び電子手続きの推進を図るとともに、産業系関係者が情報を共有できるようなポータルサイトを設置する。(第4回)	
	10 人材育成と人材活用について： 職員のマネジメントスキルの向上を図る取組と市民の知識を活用する場づくりを推進する。(第4回)	
	11 市の計画(ビジョン)の情報発信を図る。(第4回)	
	12 リサイクル活動の推進について(第4回)	
	13 まちづくりサミットについて： まちづくりに対する市民の意識を高めるため、まずは、団体等の代表者によるサミットの開催計画がある。(第4回)	
	14 施設の予約状況の確認をしやすくするなど、市ホームページの改善を図る。(第4回)	